



六  
月

# パストラル尼崎

水  
無  
月

No99\_2020(R.2)年5月25日

〔編集・発行〕

パストラル尼崎

尼崎市潮江1丁目10-2

Tel. 06-6493-0521

Fax. 06-6493-0301

発行責任者：山本 弘樹

## ◆六月の歳時記◆

「時の記念日に寄せて」



日本人の時間の厳格さは、世界でも有名ですが、こうなったのは結構最近のようです。明治時代、技術指導で来日したオランダ人技師が次のように伝えています。「日本人の悠長さといったら呆れる」「約束していても一向に届かない材木」「工場に一度、顔を出したきり二度と戻らない職人」「正月の挨拶周りだけで2日も費やす」などと例をあげ、「日本人は無茶に丁寧で、謙譲ではあるが、色々の点で失望させられ、この分では自分の望みの半分も成し遂げないで、ここを去ってしまうのではないかとさえ思う」と、暗澹(あんたん)たる思いを吐露しています。(汗)

いやはや驚くほどのグウタラぶりですが、それも仕方なかったかもしれません。というのも江戸時代の庶民は基本的には日の出と共に一日が始まり、日没と共に寝るといふ暮らしをしていました。(照明に使う油やロウソクが大変高価なものだった為、夜でも活動していたのは吉原遊郭などごく一部のみでした。)細かい時間は、一刻||二時間おきに鳴るお寺の鐘が唯一、時間を知るための手段で、半刻||一時間などは、自分の感覚に頼る大雑把なものでしかなかったのです。なので待ち合わせなど一刻||二時間以内であれば許容範囲だったのだとか・・・(汗)

朝の庶民の風景はというと、女房は明け六つ(午前6時)より少し早めに動き出し、朝食の支度を始めます。面白い事に、長屋の路地にやってくる物売りにも順番がありました。まず豆腐屋が朝食に間に合うよう一番早く活動を始め、その後納豆売り、惣菜売り、野菜売り、魚売りなどが長屋の路地に次々とやってきていたようです。これも時を知るめやすとなっていたかもしれませんね。

## 新旧施設長ご挨拶

### ●池田(旧)施設長より

昨年の9月1日より着任し、わずか約8カ月の勤務でしたが、ご入居者の皆様に支えられ、今後の私の人生において糧となる様々な経験をさせていただきました。あらためて感謝を申し上げます。皆様におかれましては、お身体に十分ご留意いただき、お元気でお過ごし下さい。あまりにも着任期間が短く、大変ご迷惑をお掛けいたしますが、後任の山本にしっかり引継ぎを行いますので、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

### ●山本(新)施設長より

ご入居者の皆様、大変ご無沙汰しております。パストラル加古川から戻ってまいりました。皆様におかれましては、この数か月間、新型コロナウイルスの影響で、外出や様々な活動の自粛をお願いし、大変窮屈な思いをされていることと思います。職員も色々と工夫をし、皆様が退屈しないよう対応しております。もう少しの辛抱です。職員・ご入居者の皆様と協力し、この難関を乗り越えたいと思います。今後は、加古川での経験も踏まえ、ご入居者に軸足を置いた対応を心掛けてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。



## 洋菓子の「エーデルワイス」

尼崎市にある「エーデルワイス」はご存知でしょうか？創業者は「洋菓子の父」と呼ばれる比屋根毅氏。デパ地下の「アンテナール」や「ヴィタメール」などを全国展開しています。弟子は、西宮市の「ツマガリ」や尼崎市の「ショータニ」、豊中市の「ムッシュマキノ」など錚々たる有名菓子店主がその名を連ねます。

創業地は尼崎市の“立花”。たった七坪の洋菓子店からの出発でした。数々のコンクールで優勝していた比屋根氏でしたが当初はまったく売れず店をたたむ事を決意。「お世話になりました」の張り紙を貼り、最後のケーキを近所に無料で配ったところ、その翌朝、シャッターをたたく人達がケーキを買いに次々とやってきたそうです。それから店は復活を遂げます。「あの時、シャッターをたたいてくれた近所のクリーニング屋の奥さんの顔は、今でも忘れない」後に比屋根氏はそう語っています。

現在の洋菓子の技術は、欧米よりも上回っているといえます。しかし、その修業は厳しく、時には職人たちが懸命に作った作品の出来が悪いと、ひっくり返したり頭を掴まえてミキサーに叩きつけたりしたそうです。「ツマガリ」を設立した津曲孝氏もよく泣いていたのだとか・・・(泣)

そんな弟子たちの数、100名。比屋根一家と呼ばれる彼らが、今のスイーツブームを支えているという自負があると話されています。この空前のスイーツブームの原点が尼崎市にあったとは、本当に驚きです。JR立花と尼崎間にエーデルワイスのミュージアムがありますが、比屋根氏の尼崎市に対する思いを再確認できたような気がします。